

ICTを **いかす** ・ ICTで **つなぐ** ・ ICTで **ひらく**

子どもたちの「できる」を助けるICT！

やったーできたよ！



Special
Education の
ICTに
機能になろう！
= Seiたん

1 Windows の操作が簡単に「できる」。

Windows には、障がいの特性に合わせて、使いやすくする機能（アクセシビリティ機能）があります。

一例：「見ることに困難がある子に、パソコン画面上でポイントしている場所をわかりやすくする方法」
・ [スタート] → [設定] → [簡単操作] → [カーソルとポインター] の順に選択する。



マウスポインターの色とサイズを変更して、マウスをより見やすくしましょう。

2 タブレットの録画機能を使って、自分の様子を確認することが「できる」。

次のような場面で・・・

自分の音読や発表の練習
音楽の歌唱、演奏の練習
外国語の発音の確認



録画機能を使うと、こんなことができるよ。

- 振り返りに活用することができる。（自己評価）
- 繰り返し、確認することができる。
- 保存することもできる。（記録・整理）
- 友達と共有することもできる。

3 アラーム機能を使って、自分で活動の時間調整が「できる」。



- ・ Windows メニューから「アラーム&クロック」を選択。
- ・ タイマー画面で時間を指定。
- ・ 再生ボタン (▷) を押してスタート。

・ 既設の時間以外にもオリジナルで新しくタイマーを設定することが可能。

・ 子ども自身に、自分の学習や余暇の時間を決定させ、取り組む習慣を身に付けさせる。



4 物の形を見てとらえることが苦手な子も、タブレットのカメラ機能とペンを使って写真の輪郭をなぞること、本物によく似た絵を描くことが「できる」。

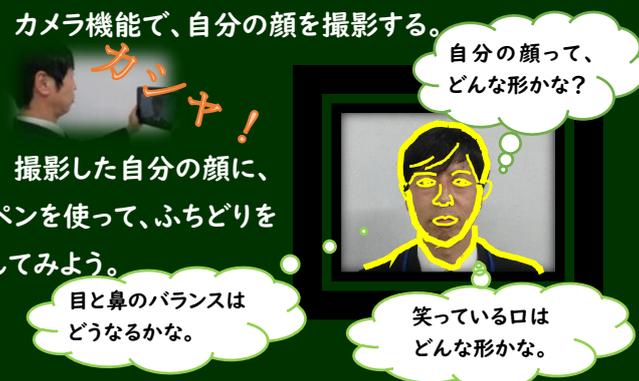
【例：自分の顔を描く】

① カメラ機能で、自分の顔を撮影する。

② 撮影した自分の顔に、ペンを使って、ふちどりをしてみよう。

③ いろいろな表情の顔を撮影して、描いてみよう！

いろいろな表情の自分の絵が「できた！」



これまで蓄積してきた教育

と

最先端のICT

の ベストミックス！

一人一台端末は令和のスタンダード

学習上の困難さに応じたICT活用